

安心して暮らせるまちづくりのために 栄・防災ボラネット通信

発行：横浜栄・防災ボランティアネットワーク

26号
2018-7

ごあいさつ

このところ国内においても、地震&水害による大きな災害が報じられ、近い時期に当地区にも災害発生が心配されています。当会に於いては皆様に研修会&ご希望を頂いた団体への講習会を通して日頃からの備えの見直しと準備をお願いしていますが、今年はさらに地域防災組織（町内会・自治会・地域防災拠点運営委員会・地域福祉関係機関など）との連携を密にして協力体制を構築し、地域防災拠点が行う地域住民の防災力向上を図る活動に協力いたします。

代表：宇田川

平成 30 年度 定期総会報告

日 時：平成 30 年 4 月 21 日（土）13：30～14：20
場 所：栄区役所新館 4 階 8・9 号会議室
出席者：27 名（6 団体 12 名、個人 15 名）
議事録署名人：高橋隆蔵氏、菊地賢三氏
来 賓：磯崎 保和氏（栄区連合町内会長）
見上 正一氏（栄区副区長）



代表挨拶

4 月 21 日（土）平成 30 年度総会が、栄区役所にて開催されました。
当日ご出席の来賓の方々にもご挨拶をいただきました。

<第 1 部> 総会

下記の議案はすべて満場異議なく（拍手）承認されました。

- 第 1 号議案 平成 29 年度事業活動報告
- 第 2 号議案 平成 29 年度会計報告・会計監査報告
- 第 3 号議案 平成 30 年度事業計画(案)
- 第 4 号議案 平成 30 年度事業予算(案)

宇田川代表より平成 30 年度の役員及び運営委員の紹介、
平成 30 年度に向けての挨拶があり、総会を終了しました。



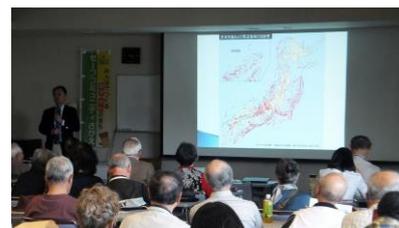
総会の様子

<第 2 部> 講演会

「地震も火山も、地球の営み」

～自然災害から命を守るために～

講師：平田 大二氏
神奈川県立生命の星・地球博物館 館長



講演会の様子

講師の専門は地質学ですが、自然災害を絡め、分かりやすい講演でした。
「自然災害から、いのちを守る」ためには、自然災害とはどのようなものか、なぜ起きるかを
知っておくことの大切さを力説してくださいました。
一般参加者 42 名を含め多数の受講者が参加し、関心の程が伺えました。

記：早福修二

○平成30年度「栄区地域防災拠点運営委員会 意見交換会」

日 時： 2018年7月2日(月) 13:30~16:00

場 所： 栄区役所新館4階 8号会議室

昨年から活発に連携をとっている、栄区地域防災拠点運営委員会と栄区社会福祉協議会／栄・防災ボラネットとの交流が、「平成30年度栄区地域防災拠点運営委員会 意見交換会」に招かれる形で実施され、拠点運営委員：32名、栄区社協/防災ボラネット：12名、その他 区の多くの職員の皆さんの参加も得て和やかに行われました。

- あいさつ**：拠点運営委員会連絡協議会 毛利 勝男会長 から 区内防災組織の連携、防災拠点開設に際しての体制と訓練の方向が、ボラネット 宇田川 代表 から平成16年柏尾川水害時の救援ボランティア活動がボラネット設立の契機になったこと、などのご挨拶を頂きました。
- 研 修**：地域防災組織とその平常時・災害時の連携について、意見交換のための材料提供が下記2項について行われました。
 - 「地域防災拠点の開設・運営の基礎的な知識と栄区災害対策本部について」
栄区 総務課 伊藤 危機管理係長
 - 「地域防災拠点と災害ボランティアセンター」 栄・防災ボラネット 宇都宮
それぞれ短時間の解説でしたが、横浜市の改訂防災計画の内容にも触れる広範囲な事項を含み、特に参加された多くの新任の拠点運営委員の啓発を意識して進められました。
- 意見交換**：A~Fの6グループに別れ、拠点・ボラネットのメンバーが交じりあって実施され、
 - 自分の地域防災拠点訓練内容について、
 - 災害ボランティアセンターについて、
 - 今後の地域防災拠点運営について、の3テーマを題材にして、各拠点の訓練内容の実情、災害ボランティアセンターへの認識、拠点運営組織の実情と問題点の解決方向、などの発言があり、3題材以外にも、たとえば、DIG や HUG の活用、災害時有用な中学生を交えた訓練等の発言や紹介もあり、相互の情報交換に極めて有意義な時間を持つことができました。
- グループ発表**：各グループ2分以内という短時間で、簡潔に要領よく発表が行われました。
 - 避難者カード・避難所内の区割り・安否確認、 ●拠点により運営委員の選出に差がある、
 - 避難訓練を運営訓練にシフト、 ●災害ボラセンを初めて認識した。などが発表されました。
- その他**：質問事項として
 - 拠点傘下に、自治会に加入していない外国人が多数いるが、災害時に通訳ボランティアの派遣は可能か、
 - 手話ボランティアはどうか、
 - 今日配布された「ボランティア派遣依頼票」の使用方法について。などがあり、その場での回答は簡略に行いましたが、今後ボラネットの実際の対応方法として検討を加えなければならない得難い宿題も与えられました。



<活動報告>

○第 13 回災害ボランティアネットワーク Bブロック会議報告（金沢区担当）

日 時： 2018年6月19日（火） 18：30～20：00

場 所： いきいきセンター内、金沢区社協

参加者： 26名

（金沢区9名、港南区6名、磯子区3名、戸塚区1名、栄区4名、市災ボラ3名）

年3回（原則第3火曜日）開催されているBブロック会議が、今回は金沢区担当で下記のように実施されました。

災害時における市災ボラ支援センターと各区との連携の実践として、無線を使用して区ごとに市災ボラ支援センター担当者との状況報告交信を行いました。

交信後、市災ボラ支援センター担当が各区からの応援要員の過不足を調整して、その補充要員を配分、特に金沢区から戸塚区に向かう応援要員の派遣経路の検討も行いました。

また、最近の活動状況として、戸塚区は非常食の美食体験、港南区は災害時シミュレーション、磯子区は地区防災訓練への参加や出前講座、金沢区はコーディネータのスキルアップ研修や出前講座、栄区は区や拠点との連携強化のための連絡会と研修会やボラセン開設訓練など実施している旨の報告がありました。

次回は10月に戸塚区担当で行われますが、実施してほしいものがあれば出してほしいとの要望が出されました。栄区は次々回（2月）開催担当となります。（記：藤田みちる）

○防災講座協力

①「ふくろうカフェ」定例会 講義と災害クロスロード

日 時： 2018年4月13日（金） 14：00～16：00

場 所： 桂台地域ケアプラザ

参加者： 15名 協力者：大森、宇田川



様々な分野の皆さんが任意に集って、それぞれがテーマを出し合い、勉強会や講演会、見学会などを行いつつ、地域への貢献を考えているグループ「ふくろうカフェ」の4月の例会で、防災講座を行いました。大森もメンバーの一人ですが、今回は講師として参加、最初に東日本大震災の実写映像と講義を行い、参加者のほとんどが初めての体験という災害カードゲーム クロスロードで意見を出し合いました。かなり興味を持っていただきましたので、今後も防災をテーマに継続した勉強会をしていきたいと思えます。

②桂台地域ケアプラザ ボランティアネットワーク例会 クロスロード

日 時： 2018年5月25日（金） 14：00～16：00

場 所： 桂台地域ケアプラザ

参加者： 15名 協力者：大森

「ふくろうカフェ」を支援している、桂台地域CP職員からの依頼があり、上郷西地区と本郷中央地区で活動しているボランティアグループが参加するボランティアネットワークの例会で、災害クロスロードを行いました。ひとつひとつの問題について、全員が意見を出し合うこのゲームは、初めての方がほとんどでしたが、「楽に参加できるけれど、深く考えることができ、有意義な時間でした」とコメントをいただきました。サロン関係の団体が多く、要援護者を対象にしていますので、今後も防災について考える機会を持っていただきたいと思います。

（①・②記：大森真由美）

○関連会議が次のように開催されました。

・横浜市災害ボランティアネットワーク会議総会

日 時： 2018年6月7日(木) 18:30～

場 所： 横浜市健康福祉総合センター 8階大会議室

参加者： 宇田川、藤田、佐野、鈴木、沖津、山口、宇都宮

総会に先立って、横浜市防災計画「震災対策編」の見直しについて、市危機管理室 石川係長による解説が行なわれました。 1. 特別避難場所を福祉避難所に名称変更、2. 災害廃棄物の処理、3. 車中泊避難への対応、4. ボランティアとの協力体制。 この第4項の詳細は区の見直しに沿って具体的な解説が行われる予定です。

会員紹介

現在、災ボラの会員数は、個人会員 44 (家族会員は 4)、団体会員 31 となっています。会員の防災への取り組みをご紹介します。

「大船富士見台自治会」の防災への取り組み

大船富士見台自治会の防災への取り組みについて紹介します。

当自治会は、世帯数が約 140 世帯と比較的小さな自治会ですが、防災への関心は高く、防災訓練への参加は、5割を超えています。主な訓練は、消火訓練、災害時要援護者の安否確認・避難誘導訓練、横浜市の防災センター研修などです。以下訓練の様子です。

<消火訓練> 2基保有するスタンドパイプ式消火栓の消火訓練の状況です。
豊田消防署の指導の下、女性も参加し、実放水訓練を実施しています



<要援護者支援訓練> 当自治会は細長く、途中にかなり勾配ある坂があり、要援護者を安全に避難させるために、担架及び車椅子による搬送訓練を実施しています。



(記：佐原丈夫)

ホームページをご覧ください！

「栄防災ボラネット」で検索してください。

横浜栄・防災ボランティアネットワークへの連絡は

栄区社協：TEL 045-894-8521

FAX 045-892-8974